

目次

はじめに

3

第1章

解剖学をはじめよう

9

- それってどのタイプの解剖？ ● 解剖学にもタイプがあつて ● 解剖学のテキスト ● 解剖学的正位、面、方向 ● 剖出と予習 ● メスを使うな、ハサミを使い ● 献体 ● 生命倫理と解剖学実習 ● 体を支える骨格系 ● 体を動かす筋系 ● 体の情報担当の神経系 ● 心臓血管系が血液を運ぶ

第2章

背部

61

- 人体骨格標本 ● 脊柱と胸郭 ● 皮膚を剥ぐ ● 背部の筋は、上肢の筋と固有背筋 ● 脊柱管と脊髄と馬のしっぽ

第3章 上肢 99

- 上肢の骨格をみよう ● 筋膜と静注 ● 三角筋と筋注 ● 回旋筋腱板
- 神経の束―腕神経叢 ● 上肢の深筋膜とコンパートメント
- 力こぶの筋 ● 上腕三頭筋と橈骨神経 ● 前腕の筋は多い
- 手を動かすたくさんの筋 ● 脈をとる

第4章 人体発生のあらまし 157

- 配偶子から受精まで ● 細胞の運命がわかれていく ● ヒトの形になつていく

第5章 胸部 173

- 胸郭は鳥かごのように ● 胸部の皮下は悩みのもと ● 胸筋とVAN
- 筋と呼吸を考えてみる ● 胸膜だけど、トポロジ―って覚えてるかな？
- 胸腔は陰圧、腹腔は陽圧 ● 胸壁を開ける ● 肺をみよう ● 心臓をみよう
- 縦隔

第6章 腹部 243

- 腹部の骨格 ● 腹壁の目安 ● 腹部の皮下が気になって ● 魅せる腹壁の筋 ● 鼠径管の謎を解く ● 消化管と腹膜の発生 ● 腹腔をみていこう
- 腹腔腔を巡る ● 腸を辿る ● 胃はバグパイプの形 ● 十二指腸は12指よりちよつと長め ● 脾臓は消化して中和して調整する ● 小腸の空腸と回腸
- 盲腸と虫垂 ● 腸の発生と動脈と神経と関連痛 ● 結腸の目安 ● 肝門脈
- 沈黙の肝臓 ● 腎臓と副腎 ● 副腎は付属品じゃない ● 腹大動脈と胸管
- 大腰筋と腰神経叢と横隔膜の穴

第7章 骨盤部・会陰部 319

- 骨盤は内臓と下肢の支え ● 会陰は「会陰」より広い ● 骨盤腔はヒトのはじまりと終わり

第8章 下肢 357

- 下肢の骨格でロツク♪ ● モンロー・ウォークと殿部の筋 ● 大腿は3つに分けて ● 下腿の切れ上がりと泣き所 ● 足の中の手の名残り

第9章

頭頸部

393

●頭蓋骨はバズル仕立て ●頸はアタマと胴のツナギ以上 ●美人という
も： ●頭頸部は節だらけ ●頭のない「サカナ」とヒトの頭 ●頭頸部の断
面をみる ●脳硬膜の内と外 ●眼に物見せられて ●耳は聴いたり目を回し
たり

あとがき

430